



事業者：ならけん出荷販売DX協議会

計画概要

物流の2024年問題に対応し、円滑かつ効率的な物流網の構築と実需者への高品質な小菊の安定供給・販売を実現するため、JAならけん椿井宮農経済センターにおいて、デジタル技術により集出荷業務を一元管理・自動化するシステムを整備し、荷受処理にかかる時間の短縮、輸送トラックの待機時間削減等、流通の効率化を図る。

目 標

2029年度までに以下を達成する。

- ・ドライバーの稼働時間：900分/日⇒300分/日 ▲66.7%
- ・集荷場職員の延べ稼働時間：37.5時間/日⇒20時間/日 ▲47%
- ・ピストン輸送における初便出発時刻：20:00出発⇒18:00出発

食料システムへの寄与

集荷場における荷受から積込までの各工程をデジタル化することで、卸売市場への迅速なデータ共有による市場での取引時間短縮等を実現し、一般消費者へのより高鮮度な小菊の供給が可能となる。

また、集出荷業務の省力化によるJA職員や生産者の負担軽減、より高鮮度な小菊の供給による取引価格の上昇などにより、産地の発展にも寄与する。

計画のイメージ

集出荷業務の一元管理・自動化



椿井宮農経済センター



より正確な積込指示

より迅速な
販売情報連携

各販売先



輸送トラックの
待機時間削減等

取引時間短縮等

(2026年7月6日認定)